

令和元年第2回定例会一般質問通告事項

6 月 21 日 午 後	藤本友行議員（政友会）	質問方式：一問一答方式
	<p>1 教育について</p> <p>(1) 小中学校配置について 未来を創って行く時代における尾道市教育委員会の基本方針と3小学校、2中学校の未来の姿についてどのように考えているのか</p> <p>(2) 学校選択制と少人数学級を全市実施について 平成31年度の土堂小学校入学者数は、何名でその内地元は、何名で選択制での入学者は、何名なのか</p> <p>(3) 高須小学校テスト未実施及び未返却事案について 今程のテスト回数が必要なのか。なぜ、このような、未実施及び未返却が起きたのかその分析は、今後の対策は</p> <p>(4) 教職員及び支援員について</p> <p>ア 意見書提出後、尾道市民の教育を守るために市長はじめ管理職にある人たちは、どのように行動したのか。時系列にて、誰が、いつ、どこで、何を、なぜ、どのように行動したのか</p> <p>イ 平成30年度における公立小学校正規教員の割合は何%か全国平均は何%か</p> <p>ウ 令和元年度、小学校教職員採用の競争倍率は何倍で47都道府県中何位か</p> <p>エ 令和元年度において、各学校からの要望に対する未配置支援員は小学校、中学校において何人いるか</p> <p>オ 過去5年間の不登校人数は何人であったか。人口の割合では広島県内14市中何位か</p> <p>(5) 公民館について</p> <p>ア 他都市では、コミュニティが弱体化している姿を感じ平成15年から31年の間で体制を変化させている。本市においても、因島地区では、2人から3人体制にて「公民館活動」として生涯学習活動とコミュニティ活動を行っている。なぜ、旧尾道では、格差が是正出来ないのか</p> <p>イ 市長就任の挨拶に「時代の変化に対応するため、職員の皆さんは、もっと現場に出て、いち早くその変化をつかまえ、時代を切り開いて行って下さい」と話されている。なぜ、市民が助けを求めていることに変化出来ないのか。他都市でできることが尾道でなぜ出来ないのか。地域コミュニティが崩壊するまでじっと待ちつづけるのか</p>	

<p>6 月 21 日 午 後</p>	<p>2 人口ビジョン&総合戦略&総合計画について</p> <p>(1) 人口ビジョンの社人研推計と尾道市独自推計について 2010（平成 22）年度の国勢調査に基づき、2015 年、2025 年、2035 年、2045 年の社人研推計の表を見て、人口動向 0～19 才の年少人口、20～64 才の生産年齢人口、65～74 才の前期老年人口、75 才以上の後期老年人口、推計数値を比較し、どのような分析をされているのか。その結果どのような成果となったのか</p> <p>(2) 総合戦略の人口減少克服と地方創生について</p> <p>ア 計画をされている政策を実施すれば約 2 倍になる効果が上がって行く計画となっているが、その理解でいいか。</p> <p>イ 若い世代の婚姻・出生数が、2018（平成 30）年は、何件と何人になったか。目標数値は、増加となっております</p> <p>ウ 時代にあった地域づくりとは、具体的にどんな施策をされたのか。5 カ年の戦略期間の成果を数値化し、それぞれについて示して</p> <p>(3) 総合計画について</p> <p>ア 総合計画をすすめるにあたり、「人財」「資源」「広域拠点性」の 3 つの要素のうち、「人財」に関して自治体の中において行政と議会の両方が機能不全にあると言われている。「考える力を失っている」と言われている行政として職員教育は、どのようにしているのか。なぜ首長経験者が、そのように思うのか。その成果はなにか</p> <p>イ 行政職員の人事評価を 5 段階で行っていると聞いているが、平成 30 年においてそれぞれ何%になっているのか</p> <p>ウ 「市民や地域が主体の計画」の中で「地域住民の活動拠点となる施設の活用を進める」とある「施設」とは何を示しているのか</p> <p>エ 「市民や地域が主体の計画」とは、何を示しているのか</p> <p>オ 私なりにまとめた「公民館等機能拡大状況調査表」広島県内 14 市の状況、尾道市内、旧 2 市 3 町の状況を比較すると尾道市は市民サービス、地域コミュニティのサポートがおくれていると思うが、今後どのように進めて行くのか</p> <p>カ 特に旧尾道市のコミュニティ弱体化が進んでいることがハッキリ数値化されている。今後どのように進めるのか</p> <p>キ 副市長 1 人体制として新しい風を呼び込む挑戦として観光・都市・企画のアドバイザーを全国公募してはどうか</p>
---	--